

施策を構成する事業評価

No.	16	担当課	社会教育課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	6	生涯にわたり学べるまちづくり
施策名	1	生涯学習活動を推進します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値										目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	生涯学習講座の充実	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.2.110087(成人学習費)
事業概要	・生涯にわたりいきいきと暮らせるように、多様化するニーズに沿った各種講座を開講する。また、各種講座をきっかけに生涯学習として続けられるようグループの自主活動を支援する。		
取組内容・結果等(D)	・15歳以上を対象とした「ステップアップ講座」は、33講座で受講生を募集し、24講座(受講者330名)が開講した。 ・65歳以上を対象とした「ことぶき講座」は菊川地区、小笠地区の区分で募集し、受講者は45名(2地区合計)であった。		
課題・問題点等(C)	・ステップアップ講座は33講座を設定したが、9講座は最低受講人数を満たさず開講できなかった。また、ここ数年8~10講座が開設できない状況にあり、以前と比べ受講者数が減少している。講座内容の見直しや実施方法の検討が必要となっている。		
今後の方向性(A)	・ステップアップ講座は、受講生からのアンケート等により毎年開設講座の入れ替えを図っている。募集期間の延長や参加しやすい開講日の設定等を検討し、生涯学習活動の場の提供を図る。 ・高齢者がいきいきと活動できるよう、引き続きことぶき講座を実施する。		

事業名(中分類)	生涯学習活動団体支援事業	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.2.110086(生涯学習まちづくり費)
事業概要	・自主講座や各地区、各種団体の生涯学習の活動や発表の場を提供するとともに、優れた技能や知識を持っている方が指導者として活躍できるよう人材バンクを活用し、市民の生涯学習を支援する。		
取組内容・結果等(D)	・生涯学習人材バンク登録者に対し登録意向を確認(見直しは2年毎)し、57名登録をいただいた。平成28、29年度における活用回数は16回であった。※前回の活動報告は平成29年度実施。		
課題・問題点等(C)	・広報誌への掲載や家庭教育学級等の紹介を通して生涯学習人材バンクの認知度向上に取り組んでいるが、登録者の活用実績が向上していない。		
今後の方向性(A)	・各個人、もしくは地域の団体等における生涯学習活動や、子どもたちの学校外活動を推進するために、引き続き生涯学習人材バンクの登録制度を実施し、各活動の支援を図る。 ・学校地域支援事業等、協力連携可能な事業でも活用していく。		

施策を構成する事業評価

No.	17	担当課	図書館
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	6	生涯にわたり学べるまちづくり
施策名	2	読書環境の整備に努めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値										目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	読書環境整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.6.110106(図書館管理費) 10.5.6.110869(図書館総務費)
事業概要	市民のニーズに対応するために計画的に蔵書を管理し専門性を備えた職員を育成すると共に、書架整理やおはなし会等に携わる図書館サポーターと連携し、市民協働による図書館運営を推進していく。		
取組内容・結果等(D)	所蔵する郷土資料の台帳を作成し、177件のデジタル化を行った。 広報研修、運営研修、情報研修、レファレンス応用研修、児童・青少年サービス研修相互貸借担当者会等の専門研修や情報交流会、図書館大会に参加し、職員の専門性を図ることに努めた。 除籍した資料の有効活用としてリサイクル市を両館合計で5回開催した。		
課題・問題点等(C)	デジタル化した郷土資料は、広く市民に活用してもらいことができるよう、資料の公開方法等を今後検討していく必要がある。古文書解読についても、専門家の協力が必要となる。		
今後の方向性(A)	郷土資料デジタル化した郷土資料の公開方法の検討や取り扱いについての要領などの作成が必要である。		

施策を構成する事業評価

No.	17	担当課	図書館
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	6	生涯にわたり学べるまちづくり
施策名	3	読書機会の提供・読書活動の啓発に努めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値										目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	多様な図書館サービスの提供事業	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.6.110869(図書館総務費)
事業概要	利用者に応じたサービスが行えるよう、バリアフリーサービス・多文化サービスを推進し、利用者が必要とする情報・資料などの求めに応じて、資料を検索・提供・回答するレファレンス機能を充実させる。利用者の求める資料を自館で所蔵していない場合、資料を他館から借り受け利用者に提供するサービスである協力貸出・相互貸借により対応する。		
取組内容・結果等(D)	外国語図書や点字付き絵本の収集を行い、外国籍や障がいのある子ども達に配慮した読書活動を行った。 外国語での読み聞かせを実施している団体に会議室を貸し出し、幅広い層への読書活動を支援した。		
課題・問題点等(C)	障がいの状態や発達段階等、子どもの興味に応じた資料が提供できるような資料収集が必要だが、LLブック(やさしくわかりやすく書かれている本で、文字を読んだり、本の内容を理解することが苦手な人がやさしく読めるような内容)等の蔵書冊数が少なく充実していない。 レファレンス事例をまとめることにより、需要の多い質問等に対して、予め必要な資料を準備しておけるような環境が必要である。		
今後の方向性(A)	英語学習に役立つ多読資料等の購入の検討		